

オンライン利用率引き上げに係る第三者チェック (外国貨物の蔵入れ、移入れ、展示等及び総保入れの承認)

「外国貨物の蔵入れ、移入れ、展示等及び総保入れの承認」(以下、「蔵入れ等」)の手続きを実施している事業者を含む保税制度を利用している事業者等を対象として、「保税制度に関するアンケート調査」を実施しました。

【アンケート調査の概要】

調査対象・方法：保税制度を利用している事業者、制度に関心がある事業者を対象とし、日本関税協会のホームページからオンラインで回答

調査期間：令和5年8月24日～同年9月22日

回答者数：2,266 者

【回答者の主な業種】

通関業者、倉庫業者、運輸業者、製造業者、小売・卸売業者

【蔵入れ等に関する回答の概要】

蔵入れ等を煩雑と感じている回答者数：88 者

意見の概要	意見数
手続きの頻度	29
申請項目の多さ	27
手続きにあたり他社等に確認・調整する必要が生じる	19
システムで電子的に手続きが出来ない	11
税関における審査時間の長さ	3
手続きについて税関に気軽に相談しにくい	3
対応に金銭的な負担が発生する	1
その他	9

※上記は1者が複数意見を回答している場合がある。